2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	作業療法総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期　金3・4	教室名	403号室
担当教員	松本 周三	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

2年次の最後から3年次にかけて行われる臨床実習では、それまでに学習した専門基礎科目・専門科目の内容を踏まえた知識・技術の統合が実践的な場で図られる。また、専門職業人の適性・態度と一社会人としての基礎力(リテラシーとコンピテンシー)が問われることとなる。本科目ではこれらの臨床能力を高めるため、生活行為向上マネジメントツール(MTDLP)の学習と演習、事例を通した統合と解釈やクリニカルリーズニングの演習などを通して、知識・技術・態度の向上と統合の助けを行っていく。

《成績評価の方法と基準》

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■教科書: 配布資料、 作業療法マニュアル75　生活行為向上マネジメント［改訂第4版］(一般社団法人日本作業療法士協会)
標準作業療法学　専門分野　作業療法臨床実習とケーススタディ［第2版］(医学書院)、
OT症例レポート赤ペン添削　ビフォー&アフター (羊土社)
■参考書: 作業療法評価学や身体障害治療学・老年期障害治療学などで利用する教科書や配布資料

《授業外における学習方法》

基本的に次の通り。
【事前学習】課題内容を確認し、医学的情報の確認、観察内容の言語化、考察・クリニカルリーズニング内容の言語化などを進める。
【事後学習】資料整理と復習。教員からのフィードバック内容や学生同士での協議内容を要点整理し、記録を行う。

《履修に当たっての留意点》

・課題を明示するため、予め予習しておくこと。課題内容は、臨床実習での観察記録等のレポート課題の遂行能力を高めるものとなる。
・服装や身だしなみに関しては臨床実習に準ずるため、KC忘れの場合は、授業の聴講はできるが実技には参加できない。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①MTDLPについて説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】シラバス内容を確認しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**生活行為向上マネジメントツール(MTDLP)概要** MTDLPとは？―生活行為向上マネジメントの概要を理解する。 事例を通してMTDLPの使用方法を確認する。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	①MTDLPについて説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLPの活用** 事例を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングを行うために必要なMTDLPの活用方法を確認する。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	①MTDLPについて説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLPの活用** 事例を通して、目標設定や介入プログラム立案に必要なMTDLPの活用方法を確認する。		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	②MTDLPを使って事例情報を整理できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLP演習** 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	②MTDLPを使って事例情報を整理できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLP演習** 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	②MTDLPを使って事例情報を整理できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLP演習** 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	③MTDLPを使って事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLP演習** 事例演習を通して、目標設定の練習、介入プログラム立案の練習を行う。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	③MTDLPを使って事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLP演習** 事例演習を通して、目標設定の練習、介入プログラム立案の練習を行う。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	③MTDLPを使って事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLP演習** 事例演習を通して、目標設定の練習、介入プログラム立案の練習を行う。		
第10回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	④MTDLPを使ってOTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。発表内容の再確認(30分) 【事後学習】発表後のフィードバックを受けた振り返り。(30分)
		各コマにおける授業予定	**MTDLP演習(クリニカルリーズニング演習)** 模擬的にインフォームドコンセント実施場面を作り、OTの臨床思考過程をMTDLPを使って他者に説明する。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	⑤事例情報を整理できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例演習** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	⑤事例情報を整理できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例演習** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	⑥事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例演習** 事例演習を通して、目標設定や介入プログラム立案の練習を行う。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	⑥事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例演習** 事例演習を通して、目標設定や介入プログラム立案の練習を行う。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	⑦OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分) **【最終課題】**最終事例レポート課題　**→最終回の日に提出**
		各コマにおける授業予定	**事例演習** 事例演習を通して、臨床思考過程を他者に説明できる形に文書化し、まとめる練習を行う。		